

安全宣言はいつか

遠藤町長／新たな町づくりと町の将来の方向性を年内に発信

渡邊 ①放射線に対する不安払拭にどう対応し、住民に説明しますか。

②町民から要望の多い買い物が出来る施設の整備は、どのような形ですすめられますか。

③全ての面で広野町の安全宣言ということが重要と思いますが、その時期はいつになるのですか。

町長 ①専門家による検証委員会が設置され、現在まで3回の委員会が開催されています。

今後は、町内の放射線量の現状評価と内部被ばくなどの健康リスクの検証を行い、町民が安全・安心を得られる取り組みを進めたいと考えます。

②企業とは、その必要性を相互に理解し、店舗規模、設置場所などの詳細な打合せを月ごとに繰り返し行っています。

さらに、経済産業省、福島県の協力をいただきながら事前協議を進めています。

③町民に対し、新たな町づくりと町の将来の方向性を年内に発信していきたいと考えています。



渡邊 正俊 議員



朝夕の時間帯に交通量が増える町内の道路

復旧作業労働者と共生の町づくりとは

遠藤町長／相互理解を深め、協力、協働

渡邊 町民より多くの原子力関係労働者が町内に居住しています。このような対応で向き合っていくのですか。

また、企業との関わりはどのような方針をもって臨んでいますか。

町長 町は、町民の幸せな帰町・復興を確かなものとするこ

とで、広域的な視点に立ち、双葉地方の復旧・復興を牽引、加速させていく重要な役割があります。そして、廃炉作業などに関わる作業員の方々の新たな共生の在り方や新しい時代の新たな町づくりの創成を、町民とともに相互理解を深め、協力、協働して復興を成し遂げたいと考えています。

～賠償実現ときめ細やかな支援を～

幸せな帰町・復興へ支援要望



塩崎厚生労働大臣へ救急医療体制の充実や国保の減免措置延長を要望

国および東京電力㈱へ

要望書を提出

平成26年9月24日から2日にわたり、関係省庁の各大臣や議員に要望書を、また東京電力㈱に対しては、要望書をそれぞれ手渡ししました。

幸せな帰町・復興のためには、きめ細やかな支援に加え復興を加速することが必要不可欠です。

議員からは廃炉の着実な取り組みや賠償の実施、国民健康保険税の減免措置延長や高速道路無料措置の継続など多くの要望・意見が出されました。

“幸せな帰町・復興”への支援等について

【要望事項】

- 1 廃炉に向けた取組の着実な実施について
- 2 原子力被害に対する適切な賠償の実施について
- 3 国民健康保険税等の免除に対する財政支援について
- 4 浄水施設への財政支援について
- 5 飲料水に関する安全・安心の確保について
- 6 高速道路無料措置の継続について
- 7 特急「スーパーひたち」の運行再開等について
- 8 道路に関する安全・安心の確保について
- 9 子どもたちを育む環境の整備に対する支援について
- 10 Jヴィレッジの早期再開と機能強化について

【緊急要望事項】

- 1 米の風評払拭対策等について

【要望事項】

- 1 廃炉に向けた取組の着実な実施について
- 2 原子力被害に対する適切な賠償の実施について
- 3 Jヴィレッジの早期再開について
- 4 職員等の住居を町内へ設置すること
- 5 関連企業の事業所を町内へ設置すること

【要望先】

復興大臣	竹下 亘
文部科学大臣	下村 博文
経済産業大臣	小淵 優子
厚生労働大臣	塩崎 恭久
環境大臣	望月 義夫
国土交通大臣	太田 昭宏
原子力災害現地対策本部長	高木 陽介
自由民主党東日本大震災復興加速化本部長	大島 理森
公明党代表	山口 那津男

【緊急要望先】

農林水産大臣	西川 公也
農林水産副大臣	あべ 俊子
農林水産事務次官	皆川 芳嗣

【要望先】

東京電力株式会社代表執行役社長 廣瀬 直己